

ヒラメ種苗を放流

日釣振神奈川県支部

横須賀の長井町地先で

【横須賀】日本釣振興会神奈川県支部は3日、横須賀市長井町地先の海に合計5000尾のヒラメ種苗を放流した。県裁



小さな子供もヒラメ稚魚を放流

培漁業協会が全長約7㍍の稚魚を同支部に幹(あつ)旋した。

活魚運搬車で運ばれた

4000尾は、JF長井町漁協所属の漁業者が小田和湾・尻漁港岸壁で放流。残り1000尾は

「荒崎海岸クリーンフェスタ2018」に参加した親子連れ約150人のうちの子供らが荒崎海岸に放流した。

放流に先立ち県栽培協会の今井利為専務は、「放流するヒラメは3月ごろ

ふ化し、稚魚のうち小さなエビを餌にするが、成長するとイワシなどを食べて1年で25〜30㍍に育つ」と説明。「2〜3

年後には漁業者が獲り、皆さんも食べられるサイズになるので『大きくな

つて戻ってきて』と声を呼び掛け、3台の放流出して放流してほしい」台から子供らが放した。